

教育委員会の点検・評価
(平成29年度分)
報告書
(社会教育関係事業抜粋)

平成30年 7 月

境港市教育委員会

【目標3：社会教育の充実】

事業名	学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを取り巻く環境が大きく変化するとともに、家庭や地域の教育力が低下している。未来を担う子ども達の健全育成を図るため、学校・家庭・地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で教育に取り組む体制づくりを引き続き目指す。 学校・家庭・地域の連携協力のための様々な取り組みを支援し、社会全体の教育力の向上を図る。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度より教育委員会事務局内に学校支援コーディネーターを配置し、市内小中学校10校と学校ボランティアとの調整を図りながら、学校の要望に応じて様々な教育活動を支援する。 国の委託事業を平成23年度から国県の補助事業として実施。 「学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進事業」（市1/3負担） 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 学校の要望に応じて様々な教育活動を支援した。 →登下校安全指導、読み聞かせ、環境整備等 「コーディネーター便り」を配付し、事業内容の啓発を図った。 配布先：学校、保護者、公民館、当該ボランティア等 見守りボランティア意見交換会を実施した。 市内統一の帽子・ベストを配布した。 		
予算額	1,097千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市内統一のベスト等を配布した効果もあり、不審者事案が減った。 見守りボランティア意見交換会を実施し、研修するとともに、課題の共有等が図れた。 中学校を花の植栽、読み聞かせなどで支援した。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> この事業が市民全体に周知出来ていない。 見守り活動が組織されていない地区がある。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> 現在は、各地区を対象としたコーディネーター便りを作成していたが、市全域を対象としたコーディネーター便りに変更を検討。 市内全域で見守り活動が行われるように引き続き調整する。 学校が必用としている支援を聴取する。 		

※ 学識経験者による指摘・助言
 各校区の公民館が自立的に動くのが理想だが、地域間にばらつきがあるのは公民館の位置づけが明確になっていないからと考える。余子地区を考えると自治会、地区社協等が小学校児童を大切に見守っているように感じられる。

【目標3：社会教育の充実】

事業名	読書活動推進大会開催事業	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートに始まり、「朝読」「ファミリー読書」というように、赤ちゃんから大人まで生涯を通じた読書活動の推進を図る。 ・「読書まつり」を実施し、読書の楽しさ・大切さを伝える。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせ団体等による読み聞かせ、読書に関する展示、その年々のテーマに沿った講演会等を開催し、様々な形で読書活動を市民に周知し生涯読書の推進を図る。 		
実施状況	<p>◎テーマ 『境港市読書まつり』～赤ちゃんから大人まで本で楽しいひとときを～</p> <p>日時場所 11月25日(土) 11:00～15:30 市民会館周辺</p> <p>参加人数 約350人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 演題：「こんな図書館があったらいいな 未来をひらく図書館の可能性」 講師：鎌倉 幸子氏（アカデミック・リソースガイド 株） ・米子ものづくり道場 ・赤ちゃんを対象としたお話会（境港親と子どもの劇場） ・絵本等の展示 ・青い目の人形物語 ・学校図書館展示（各小・中・高等学校図書館の取組を紹介） ・読みメンによるお話し会 ・1箱本屋さん（一般公募） ・写真展示・・・家族と本のある風景（一般公募） ・手作りカフェ（境港市女性団体連絡協議会他） ・図書館クイズラリー 		
予算額	102千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会、米子ものづくり道場、学校図書館展示、読みメンによるお話し会など魅力的な催しを行い、多くの方にお越しいただいた。 ・本年度も、学校図書館展示に高等学校からも参加をいただき、市内全小中高等学校の図書館の取り組みが紹介できた。 ・「こんな図書館があったらいいな 未来をひらく図書館の可能性」という演題で講演をしていただき、図書館建設を控える本市にとって有益だった。 		
評価	◎	順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度、会場として使用していた市民会館が来年度は使えないため、会場及び内容の検討が必用。 		
検討事項	<ul style="list-style-type: none"> ・日程、会場、内容の再検討。 ・広報の仕方、催し会場の周知の検討。 		

※ 学識経験者による指摘・助言

大変いい大会です。今後も継続して行ってください。

希望としては「マンガ」もたくさん取り入れて欲しい。未来はマンガで描けるかもしれない。

【目標4：体育・文化の振興】

事業名	文化財保存・保護事業補助金 (竹内町のオコニャ調査事業)	担当課	生涯学習課
事業の目的	竹内町で行われている伝統行事「オコニャ(オコナイ)」の保存・継承を図る。		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成29～30年度の2ヶ年をかけ、オコニャの現状・課題等を調査し、そのまとめた報告書を竹内町御講内保存会が製作する予定である。報告書の製作に際しては、市・県が同保存会に補助金を交付するとともに、有識者を交えた調査委員会を組織し、製作を支援する。 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 本年1月に行われたオコニャの視察、他地域における類似行事の視察、オコニャ関係者からの聞き取り、資料収集を行った。 		
予算額	120千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> オコニャ関係者からの聞き取りや各種資料の収集により、行事の沿革、現状、課題などの把握が進みつつある。 		
評価	○	概ね順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 後継者の不足、関係者の高齢化などにより、オコニャの保存・継承が難しくなっている。その上、保存・継承に否定的な意見もみられるため、今後、保存・継承に向けた方策を検討する必要がある。 		
検討事項			

※ 学識経験者による指摘・助言

境港市にあっては貴重な無形文化財と言える。かつては弓浜半島の村々に存在していた御講内だが、現存しているのは竹内町内だけである。これを存続させるには講元の代々を残す必要があり昔風の大家族がカギを握っている。

後継者不足、関係者の高齢化等の問題を解決するための検討が急がれるが、竹内会館に講元が居住していることにして大鏡餅等をそこで準備し町内を練り歩く。講元は15として退会者数を町内から補充するようにすることも解決の一案と考える。

【目標4：体育・文化の振興】

事業名	日中友好交流都市中学生卓球交歓大会	担当課	生涯学習課
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 日本・中国の中学生が合同で卓球大会に参加することにより、青少年の国際理解・交流促進を図る。 		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 5年に1回、中国・北京市で開催される日中友好中学生卓球交歓大会に、本市の中学生を派遣し、中国・琿春市の中学生と合同チームを組織し試合に参加する。 		
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会 派遣期間 平成29年8月3日（木）～8日（火） 大会会期 平成29年8月4日（金）～6日（日） 派遣選手 本市内の中学生（男女各1名） 		
予算額	1,777千円		
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の壁もあり、日中の選手間のコミュニケーションは十分とはいえなかったが、卓球を通じ、選手間の相互理解を深めることができた。また、本市の中学生にとっては、初の海外体験であり、異文化を経験する良い機会となった。 		
評価	◎	順調	
課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 		
検討事項			

※ 学識経験者による指摘・助言

日中両国の「ピンポン外交」が起点になっており参加者は貴重な体験をされ、これからの人生に役立つと考える。

交流の証としてのトロフィーを市報等で大きく扱いたい。